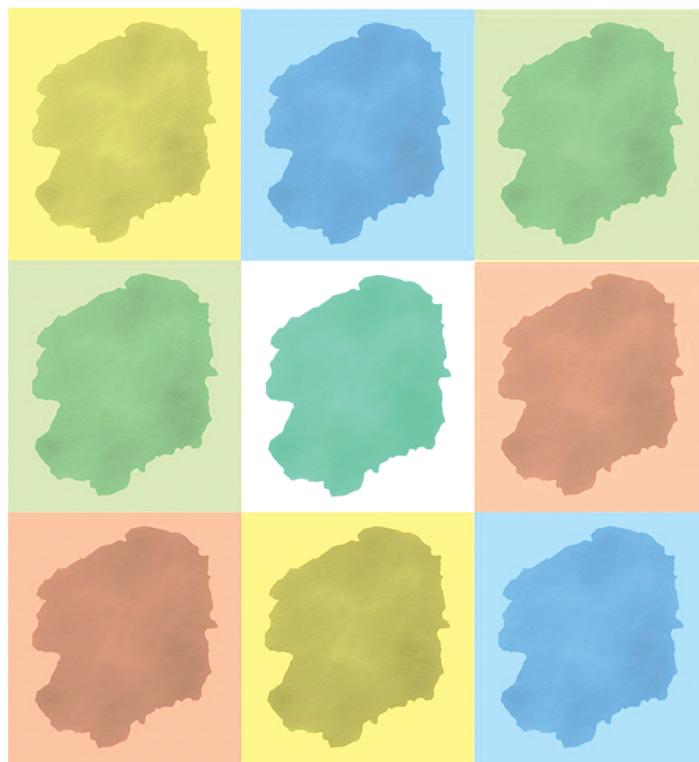


栃木県小中一貫教育ガイドライン



栃木県教育委員会

はじめに

少子化や情報化、グローバル化等の急速な進展により、児童生徒を取り巻く社会的な環境が大きく変化していく中、学校では、学んだことを人生や社会と関連付けられるような指導や、学校段階間の接続を重視した指導をすることが求められています。

小中一貫教育については、これまで、教育内容の量的・質的充実や、いわゆる「中1ギャップ」への対応等の観点から、全国各地で、小・中学校が連携を図りながら、特色ある取組が実施され、顕著な成果を上げてきました。

国においては、全国のこうした取組を踏まえ、平成28年4月1日に、「学校教育法等の一部を改正する法律」及び関係政省令を施行し、義務教育学校や小中一貫型小学校・中学校の設置等を可能とするなど、小中一貫教育を推進するための法的な体制整備がなされました。また、平成29年3月31日に告示された小・中学校の学習指導要領の総則においても、教育課程の編成上、各学校段階間の円滑な接続を図ることが示されており、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を確実に身に付けることができるよう工夫することが求められました。

これらの全国の動きと同様に、本県においても、小・中学校で連携を図った教育が各市町で進められ、これまで多くの成果が蓄積されてきました。

県が実施した調査結果によると、平成29年度現在、小学校から中学校への円滑な接続を目指した小中連携教育は、ほぼ全ての小・中学校において行われています。そのうち、約5割の学校では、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す小中一貫教育に取り組んでおり、平成29年4月1日には、本県初となる2校の義務教育学校も開校しました。さらに、県では平成28年度から3年間、国の委託を受けた小中一貫教育推進事業を実施しており、小山市、那須烏山市、大田原市、那須塩原市の4市が進める小中一貫教育を支援しているところです。

こうしたことを受け、今後も、県内において小中一貫教育を行う地域や学校が増えることが予想されます。そこで、各自治体が小中一貫教育を導入したり、義務教育学校を設置したりする際、又、各小・中学校が義務教育9年間を見通した教育課程を編成する際の参考となるよう、本ガイドラインを作成しました。

本書の活用を通して、各地域の実情を踏まえ、義務教育9年間の見通しを持った教育課程が編成され、児童生徒にとって意義ある教育活動が展開されることを願っています。

栃木県教育委員会教育長 宇田 貞夫

本書について

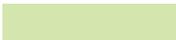
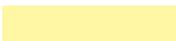
本書は、「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」(文部科学省 平成28年12月26日)を基に作成しています。その中で、本県の小中一貫教育の現状を踏まえ、各市町教育委員会や各学校が、小中一貫教育に取り組む上で参考となる事項について、ガイドラインとしてまとめました。

本県では、平成28年度から文部科学省の委託を受け、「栃木県小中一貫教育推進事業」を実施しています。巻末には、本事業に協力している4市の取組事例を掲載しました。



はじめに	1
目次	2
第1章 小中一貫教育の概要	3
1 小中一貫教育制度について	3
2 小中一貫教育が求められる背景等	6
3 なぜ小中一貫教育なのか ～制度を活用するメリット～	8
第2章 本県の小中一貫教育の現状について	11
1 小中一貫教育の導入状況調査（文部科学省）の結果の概要	11
2 本県の現状及び小中連携教育、一貫教育の成果と課題	11
3 調査結果のまとめ	15
第3章 小中一貫教育を導入する	16
1 現状の把握と課題の特定	17
2 目指す子ども像、具体目標、評価項目・指標等の設定	19
3 具体的な計画づくり	21
4 設置者である教育委員会の役割	23
第4章 小中一貫教育の授業と様々な工夫	26
1 教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導	26
2 教育課程の特例の活用（小中一貫教科等の設定、指導内容の入替え・移行）	28
3 教科等を横断した学習指導に関する工夫	30
4 乗り入れ指導の工夫	30
5 異学年交流による工夫	33
6 特別活動等における交流活動	36
7 児童・生徒指導に関する工夫	37
8 区切りの節目を活用して成長を促す工夫	38
○ 栃木県小中一貫教育推進事業取組市の事例	39
小山市	40
那須烏山市	44
大田原市	48
那須塩原市	52
○ 参考文献等	56

【凡例】本文中における色分けについては次の通りとなっています。

-  … 小中一貫教育を推進する際にポイントとなること
-  … 小中一貫教育を推進する際に留意すること
-  … その他本文の中で強調したいこと